

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Appln. No: To Be Assigned
Applicant: H. Nabeshima
Filed: Herewith
Title: METHOD OF SETTING PARAMETERS, WEB-SERVER AND TELEPHONE
ASSOCIATED DEVICE
TC/A.U.:
Examiner:

CLAIM TO RIGHT OF PRIORITY

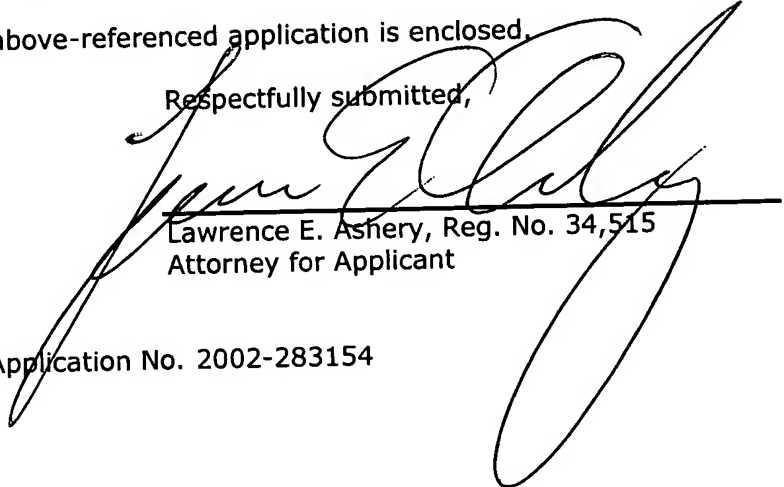
Mail Stop Patent Application
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Pursuant to 35 U.S.C. § 119, Applicant(s) hereby claim the benefit of prior Japanese Patent Application No. 2002-283154, filed September 27, 2002.

A certified copy of the above-referenced application is enclosed.

Respectfully submitted,


Lawrence E. Ashery, Reg. No. 34,515
Attorney for Applicant

LEA/dlm
Enclosure: Certified Copy of Patent Application No. 2002-283154

P.O. Box 980
Valley Forge, PA 19482-0980
(610) 407-0700

The Commissioner for Patents is hereby authorized to charge payment to Deposit Account No. 18-0350 of any fees associated with this communication.

EXPRESS MAIL

Mailing Label Number:
Date of Deposit:

EV 325926734 US
September 26, 2003

I hereby certify that this paper and fee are being deposited, under 37 C.F.R. § 1.10 and with sufficient postage, using the "Express Mail Post Office to Addressee" service of the United States Postal Service on the date indicated above and that the deposit is addressed to the Mail Stop Patent Application, Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450.


Kathleen Libby

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 2 7 日
Date of Application:

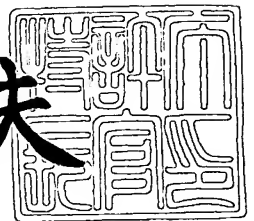
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 8 3 1 5 4
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 2 8 3 1 5 4]

出 願 人 松 下 電 器 産 業 株 式 会 社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 7 月 2 3 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 5 8 4 6 7

【書類名】 特許願

【整理番号】 2913040509

【提出日】 平成14年 9月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04M 1/274

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 鍋島 弘憲

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電話関連機器のパラメータ設定方法と、電話関連機器、ウェブサーバ及びC T Iサーバ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力し、前記ウェブサーバが該パラメータ情報を受信すると、該ウェブサーバが前記パラメータ情報を広域ネットワークを経由してC T Iサーバに送信し、該C T IサーバがD T M F 信号またはモデム信号により前記パラメータ情報を公衆電話回線で接続された電話関連機器のモデムに送信し、該電話関連機器が該パラメータ情報に基づいて設定を行うことを特徴とする電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項2】 クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信して設定するパラメータ情報を入力し、前記ウェブサーバがパラメータ情報を受信した後、電話関連機器から設定パラメータ送信要求がC T Iサーバに送信されたときには、該設定パラメータ送信要求を前記ウェブサーバに送り、前記ウェブサーバが前記パラメータ情報を広域ネットワークを経由してC T Iサーバに送信すると、該C T IサーバがD T M F 信号またはモデム信号により前記パラメータ情報を公衆電話回線で接続された電話関連機器のモデムに送信し、該電話関連機器が該パラメータ情報に基づいて設定を行うことを特徴とする電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項3】 電話関連機器から設定パラメータ送信要求がC T Iサーバに送信されたときには、前記C T Iサーバが公衆電話回線の発呼者番号通知で得た発呼者番号を設定パラメータ送信要求と共に前記ウェブサーバに送信することを特徴とする請求項2記載の電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項4】 クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバから登録設定用ウェブページを受信して登録情報を入力し、該登録情報を前記ウェブサーバに送信することを特徴とする請求項1記

載の電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項 5】 クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を確認するための入力を行ったときには、前記ウェブサーバが前記 C T I サーバを介して前記電話関連機器にパラメータ情報の変更を問い合わせ、変更内容をウェブページで前記クライアント端末に送信することを特徴とする請求項 4 記載の電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項 6】 前記ウェブサーバが前記パラメータ情報を電子メールで S M T P サーバに送信し、該 S M T P サーバが前記電子メールを C T I サーバに送信することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項 7】 前記電話関連機器がファクシミリ装置であることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項 8】 前記登録情報が格納された場合には、前記ウェブサーバと前記電話関連機器には認証情報が格納され、該認証情報ごとに前記登録情報が管理されることを特徴とする請求項 4 ～ 7 のいずれかに記載の電話関連機器のパラメータ設定方法。

【請求項 9】 公衆電話回線に接続されて通信する回線インタフェース部と、
モデム信号とデータとの変換を行うモデム部若しくは D T M F 信号とデータとの変換を行う D T M F 送受信部の少なくともいずれか一方の通信手段と、

入力手段の操作により入力されたパラメータ送信要求を C T I サーバへ送信するために該パラメータ送信要求のデータを前記通信手段へ入力するとともに、前記公衆電話回線からパラメータ情報が送られてきたとき、前記通信手段から出力されたパラメータ情報を解析するパラメータ設定通信手段と、

前記パラメータ設定通信手段から出力されたパラメータ情報を記憶部に格納するパラメータ制御手段とを備え、

制御部が、該パラメータ情報に従ってサービス機能の設定を行うことを特徴とする電話関連機器。

【請求項 10】 前記パラメータ設定通信手段は、さらに前記入力手段から入力

されたパラメータ情報を前記通信手段に出力することを特徴とする請求項 9 記載の電話関連機器。

【請求項 11】 前記記憶部に認証情報が格納され、ウェブサーバとの通信時には該認証情報を送信することを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の電話関連機器。

【請求項 12】 請求項 9 ～ 11 のいずれかに記載の電話関連機器が、前記モデム部として F A X モデムを備えたファクシミリ装置であることを特徴とする電話関連機器。

【請求項 13】 電話関連機器のパラメータ設定を行うための設定用ウェブページを格納したウェブページ格納部と、

電話関連機器ごとのパラメータ情報を格納したパラメータ記憶部と、

クライアント端末からの要求で前記設定用ウェブページを送信するとともに、該ウェブページにおいてパラメータ情報が入力されたときには、ウェブページにこれを反映し、該パラメータ情報を前記パラメータ記憶部に格納するウェブサーバ手段と、

前記パラメータ情報が入力されたときには、該パラメータ情報を C T I サーバに送信する通知手段を備えたことを特徴とするウェブサーバ。

【請求項 14】 前記ウェブページ格納部に登録情報を入力するための登録設定用ウェブページを格納し、

クライアント端末からの要求で前記登録設定用ウェブページを送信し、前記登録情報を受信してパラメータ記憶部に格納することを特徴とする請求項 13 記載のウェブサーバ。

【請求項 15】 前記ウェブサーバと前記ファクシミリ装置には認証情報が格納され、該認証情報で認証を行う認証手段を備えたことを特徴とする請求項 14 記載のウェブサーバ。

【請求項 16】 前記通知手段が S M T P で電子メールを送るメール手段であることを特徴とする請求項 13 ～ 15 のいずれかに記載のウェブサーバ。

【請求項 17】 前記電話関連機器がファクシミリ装置であることを特徴とする請求項 13 ～ 16 のいずれかに記載のウェブサーバ。

【請求項 18】 ウェブサーバから受信したメール形式のパラメータ情報を電話関連機器で受信可能な DTMF 信号またはモデム信号に変換する変換部を備えたことを特徴とする C T I サーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークから各種設定を行うことができる電話関連機器のパラメータ設定方法、ネットワークから各種機能のパラメータ設定が行えるファクシミリ装置を代表とする電話関連機器、ウェブページを送信してクライアント端末から電話関連機器のパラメータ設定が行えるウェブサーバに関する。

【0002】

【従来の技術】

通信といえばアナログ電話であった二、三十年前の時代から、最近の通信技術は社会を一変させている。デジタル技術と移動体通信技術、ネットワーク技術の普及により、音声だけでなく画像や音楽その他のデータを大量且つ迅速、きわめて容易に通信できるようになり、インターネットに代表されるネットワーク上の多様なサーバが提供するサービスをクライアント端末、例えばパソコンや携帯電話で自由に享受できるようになってきている。

【0003】

しかし、キーボード中心で入力を行うパソコンや携帯電話は、家庭や個人からの情報発信を電子メール中心にしてしまう傾向があり、発信が少なく、受信過多になっているのが現状である。扱い慣れない人も多い。こうした中、ファクシミリ装置は、誰でも扱えるデータ通信機器として家庭内に既に定着し、手書きした情報を簡単にデータ化して情報発信できるものである。最近ではインターネットと接続しているものも多く、誰でも扱える情報発信、情報収集のツールとして期待が集まっている。

【0004】

ところで、ファクシミリ装置の基本的な操作は、ダイヤルして話す、原稿を読みとって送信するというだけで、きわめて容易であるが、多くの搭載機能を発揮

させるための操作や、登録や設定の作業はなかなか難しい。そして遠隔地から登録や設定はできないものであった。そこで、従来、遠隔地から宛先情報の登録変更や追加登録が行えるファクシミリ装置が提案された（特許文献1参照）。

【0005】

このファクシミリ装置は、回線を通して送られてくるDTMF信号を受信して、これを4ビットのデジタルコードに変換し、このデジタルコードと予め定めてある命令コードからデジタルコードの解析を行い、宛先情報の登録であると知り、継続して受信したDTMF信号から宛先情報を示す数値情報を得て、記憶部に格納するものである。

【0006】

しかし、（特許文献1）のファクシミリ装置は、宛先情報の登録に関するDTMF信号が送られてきた後の処理を開示するだけであり、このDTMF信号をどのようにして送信するのかについては開示していない。DTMF信号を送信するときの操作が面倒で分かり辛いものであれば、（特許文献1）のファクシミリ装置は登録や設定作業時の操作性の困難を解決したことにはならない。

【0007】

【特許文献1】

特開平1-129642号公報（第2-3頁、第1, 2図）

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

以上説明したように、ファクシミリ装置の多様な機能を発揮させるための操作や、登録、設定の作業は、慣れていない人間にとって非常に難しいものである。しかも遠隔地からの登録や設定はできないものであった。

【0009】

（特許文献1）のファクシミリ装置は、この問題を解決し、遠隔地から宛先情報の登録を可能にするというものであったが、単にDTMF信号を使って操作するというものにすぎず、操作側がDTMF信号をどのようにして送信するのかについては開示していない。ファクシミリ装置の登録や設定に慣れない人が、遠隔地で、DTMF信号を送信するために悪戦苦闘するのでは、登録や設定作業時の

操作性の困難を解決したことにはならない。

【0010】

さらに、ファクシミリ装置の所有者自身は登録や設定を行わず、仮に専門家の力を借りて登録や設定を行うとしても、専門家が直接このファクシミリ装置のところへ行って操作するしかなく、専門家にとっても非常に煩わしいことである。

【0011】

そこで、本発明は、ユーザがパラメータ情報をどこからでも容易に設定することができ電話関連機器のパラメータ設定方法を提供することを目的とする。

【0012】

また本発明は、ネットワークから入力されたパラメータ情報で容易に各種機能の設定をすることができる電話関連機器を提供することを目的とする。

【0013】

さらに本発明は、どこからでもパラメータ設定が容易に行え、これを電話関連機器に送信できるウェブサーバを提供することを目的とする。

【0014】

そして、本発明は、どこからでもパラメータ設定が容易に行え、これを電話関連機器に送信できるCTIサーバを提供することを目的とする。

【0015】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明の電話関連機器のパラメータ設定方法は、クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力し、ウェブサーバが該パラメータ情報を受信すると、該ウェブサーバがパラメータ情報を広域ネットワークを経由してCTIサーバに送信し、該CTIサーバがDTMF信号またはモデム信号によりパラメータ情報を公衆電話回線で接続された電話関連機器のモデムに送信し、該電話関連機器が該パラメータ情報に基づいて設定を行うことを特徴とする。

【0016】

これにより、ユーザがパラメータ情報をどこからでも容易に設定することがで

きる。

【0017】

【発明の実施の形態】

上記課題を解決するためになされた第1の発明は、クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力し、ウェブサーバが該パラメータ情報を受信すると、該ウェブサーバがパラメータ情報を広域ネットワークを経由してCTIサーバに送信し、該CTIサーバがDTMF信号またはモデム信号によりパラメータ情報を公衆電話回線で接続された電話関連機器のモデムに送信し、該電話関連機器が該パラメータ情報に基づいて設定を行うことを特徴とする電話関連機器のパラメータ設定方法であり、クライアント端末からパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力するので、電話関連機器に直接入力するよりも容易に且つどこからでも入力でき、HTML等で記載されたパラメータ情報がDTMF信号またはモデム信号に変換され、電話関連機器が自動でパラメータ設定を行うことができる。

【0018】

第2の発明は、クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信して設定するパラメータ情報を入力し、ウェブサーバが該パラメータ情報を受信した後、電話関連機器から設定パラメータ送信要求がCTIサーバに送信されたときには、該設定パラメータ送信要求をウェブサーバに送り、ウェブサーバがパラメータ情報を広域ネットワークを経由してCTIサーバに送信すると、該CTIサーバがDTMF信号またはモデム信号によりパラメータ情報を公衆電話回線で接続された電話関連機器のモデムに送信し、該電話関連機器が該パラメータ情報に基づいて設定を行うことを特徴とする電話関連機器のパラメータ設定方法であり、クライアント端末からパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力するので、容易に且つどこからでも入力でき、電話関連機器から設定パラメータ送信要求することによりパラメータ情報をダウンロードするため、認証情報が格納されていないときでも容易にユーザ認証ができる。

【0019】

第3の発明は、電話関連機器から設定パラメータ送信要求がC T Iサーバに送信されたときには、C T Iサーバが公衆電話回線の発呼者番号通知で得た発呼者番号を設定パラメータ送信要求と共にウェブサーバに送信することを特徴とする請求項2記載の電話関連機器のパラメータ設定方法であり、発呼者番号通知から発呼者番号を取り出すのでファクシミリ装置の負担が軽くなり、発呼者番号で電話関連機器のパラメータ情報を抽出でき、認証情報が格納されていないときでも電話番号で容易に簡易な認証ができる。また、ウェブサーバに誤った電話番号に入力した場合でも、サーバ側から誤った電話番号に発信することを防止することができる。

【0020】

第4の発明は、クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバから登録設定用ウェブページを受信して登録情報を入力し、該登録情報をウェブサーバに送信することを特徴とする請求項1記載の電話関連機器のパラメータ設定方法であり、登録設定用ウェブページを使用することでウェブサーバに容易にユーザ登録することができる。

【0021】

第5の発明は、クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を確認するための入力を行ったときには、ウェブサーバがC T Iサーバを介して電話関連機器にパラメータ情報の変更を問い合わせ、変更内容をウェブページでクライアント端末に送信することを特徴とする請求項4記載の電話関連機器のパラメータ設定方法であり、ユーザ登録されている場合に、ウェブページからパラメータ情報を確認する入力が行え、ファクシミリ装置に別途パラメータ設定があったときの変更内容を容易に知ることができる。また、ユーザがパラメータを追加若しくは更新する際、電話関連機器のパラメータの最新の情報を知ることができるので、設定されているにもかかわらず、再度入力する労力を低減させることができる。

【0022】

第 6 の発明は、ウェブサーバがパラメータ情報を電子メールで S M T P サーバに送信し、該 S M T P サーバが電子メールを C T I サーバに送信することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の電話関連機器のパラメータ設定方法であり、電子メールを利用してウェブサーバから C T I サーバにパラメータ情報を送信できる。

【 0 0 2 3 】

第 7 の発明は、電話関連機器がファクシミリ装置であることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の電話関連機器のパラメータ設定方法であり、各種機能の設定が慣れない者にとっては難しく、且つデータ通信機器として既に定着しているファクシミリ装置のパラメータ設定作業をネットワーク上で行え、容易に設定が可能になる。

【 0 0 2 4 】

第 8 の発明は、登録情報が格納された場合には、ウェブサーバと電話関連機器には認証情報が格納され、該認証情報ごとに登録情報が管理されることを特徴とする請求項 4 ～ 7 のいずれかに記載の電話関連機器のパラメータ設定方法であり、ウェブサーバに登録情報が登録された場合には、この登録情報に対して認証情報が関係付けられ、電話関連機器からウェブサーバにアクセスしたときには登録情報を間違いなく管理できる。

【 0 0 2 5 】

第 9 の発明は、公衆電話回線に接続されて通信する回線インタフェース部と、モデム信号とデータとの変換を行うモデム部 D T M F 信号とデータとの変換を行う D T M F 送受信部の少なくともいずれか一方の通信手段と、入力手段の操作により入力されたパラメータ送信要求を C T I サーバへ送信するために該パラメータ送信要求のデータを前記通信手段へ入力するとともに、公衆電話回線からモデム信号でパラメータ情報が送られてきたとき、通信手段から出力されたパラメータ情報を解析するパラメータ設定通信手段と、パラメータ設定通信手段から出力されたパラメータ情報を記憶部に格納するパラメータ制御手段とを備え、制御部が、該パラメータ情報に従ってサービス機能の設定を行うことを特徴とする電話関連機器であり、パラメータ設定が必要な際に、入力手段への所定操作により、

サーバに対してパラメータ情報を要求することができ、またサーバから送信されるパラメータ情報に従って容易に電話関連機器のサービス機能の設定を行うことができる。

【0026】

第10の発明は、パラメータ設定通信手段は、さらに前記入力手段から入力されたパラメータ情報をモデム部もしくはDTMF送受信部に送信することを特徴とする請求項9記載の電話関連機器であり、電話関連機器に記憶されているパラメータ情報をサーバに発信することができるから、例えばサーバを使用せずに電話関連機器の入力手段により設定した場合にでも、サーバに変更後の情報を送信することが可能となる。

【0027】

第11の発明は、記憶部に認証情報が格納され、ウェブサーバとの通信時には該認証情報を送信することを特徴とする請求項9または10に記載の電話関連機器であり、認証情報で認証することにより、電話関連機器からウェブサーバにアクセスしたときには登録情報を間違いなく管理できる。

【0028】

第12の発明は、請求項9～11のいずれかに記載の電話関連機器が、モデム部としてFAXモデムを備えたファクシミリ装置であることを特徴とする電話関連機器であり、各種機能の設定が慣れない者にとっては難しく、且つデータ通信機器として既に定着しているファクシミリ装置のパラメータ設定作業をネットワーク上で行え、容易に設定が可能になる。

【0029】

第13の発明は、電話関連機器のパラメータ設定を行うための設定用ウェブページを格納したウェブページ格納部と、電話関連機器ごとのパラメータ情報を格納したパラメータ記憶部と、クライアント端末からの要求で設定用ウェブページを送信するとともに、該ウェブページにおいてパラメータ情報が入力されたときには、ウェブページにこれを反映し、該パラメータ情報をパラメータ記憶部に格納するウェブサーバ手段と、パラメータ情報が入力されたときには、該パラメータ情報をCTIサーバに送信する通知手段を備えたことを特徴とするウェブサーバ

バであり、クライアント端末からパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力するので、容易に且つどこからでも入力でき、HTML等で記載されたパラメータ情報がCTIサーバに送信され、電話関連機器が自動でパラメータ設定を行うことができる。

【0030】

第14の発明は、ウェブページ格納部に登録情報を入力するための登録設定用ウェブページを格納し、クライアント端末からの要求で登録設定用ウェブページを送信し、登録情報を受信してパラメータ記憶部に格納することを特徴とする請求項13記載のウェブサーバであり、登録設定用ウェブページを使用することでウェブサーバに容易にユーザ登録することができる。

【0031】

第15の発明は、ウェブサーバと電話関連機器には認証情報が格納され、該認証情報で認証を行う認証手段を備えたことを特徴とする請求項14記載のウェブサーバであり、認証情報で認証することにより、電話関連機器からウェブサーバにアクセスしたときには登録情報を間違いなく管理できる。

【0032】

第16の発明は、通知手段がSMTPで電子メールを送るメール手段であることを特徴とする請求項13～15のいずれかに記載のウェブサーバであり、電子メールを利用してウェブサーバからCTIサーバにパラメータ情報を送信できる。

【0033】

第17の発明は、電話関連機器がファクシミリ装置であることを特徴とする請求項13～16のいずれかに記載のウェブサーバであり、各種機能の設定が慣れない者にとっては難しく、且つデータ通信機器として既に定着しているファクシミリ装置のパラメータ設定作業をネットワーク上で行え、容易に設定が可能になる。

【0034】

第18の発明は、ウェブサーバから受信したメール形式のパラメータ情報を電話関連機器で受信可能なDTMF信号またはモデム信号に変換する変換部を備え

たことを特徴とするCTIサーバであり、メール形式のパラメータ情報を電話関連機器で受信可能に変換できる。

【0035】

以下、本発明の実施の形態について、図1～図10を用いて説明する。

【0036】

(実施の形態1)

図1は本発明の実施の形態1におけるファクシミリ設定システムの全体構成図、図2は本発明の実施の形態1におけるファクシミリ装置の構成図である。

【0037】

図1において、1はプロトコルTCP/IPで送受信を行うインターネット（本発明の広域ネットワーク）、2は発呼者番号通知サービスを提供可能な公衆電話回線（PSTN）、3は電話関連機器の1つであるファクシミリ装置（FAX）、4はインターネット1上のサーバからパラメータ設定サービスを受けることができるパソコン等のクライアント端末である。なお、本実施の形態1はファクシミリ設定システムであって、ファクシミリ装置3のパラメータ設定を対象とするが、本発明は以下説明するようにファクシミリ装置に限られない。本発明は、公衆電話回線2を介して接続されてモデムやDTMF送受信器を備えた電話関連機器であればパラメータ設定可能である。クライアント端末4はパソコン等の他に携帯電話でもよい。

【0038】

5はインターネット1に接続されクライアント端末4からの要求でウェブページを送信することができるウェブサーバ、6はプロトコルSMTPで電子メールを送受信するSMTPサーバ、7はインターネット1と公衆電話回線2に接続され、ファクシミリ通信と電子メールを統合するCTIサーバである。なお、SMTPサーバ6は、実施の形態1のファクシミリ設定システムがウェブサーバ5とCTIサーバ7との間をSMTPによって電子メールで送受信する構成をとっており、またクライアント端末4が利用するSMTPサーバ6を共用するために設けられたものである。従って、ウェブサーバ5とCTIサーバ7間の通信を他の通信方法により行い、またクライアント端末が電子メールを利用しないような場合

には、このSMTPサーバは不要である。携帯電話からウェブサーバが5に接続してパラメータ設定サービスを受ける場合には、ウェブページはコンパクトHTMLで記載され、パソコン等のHTMLで記載されたウェブページとはディレクトリを替えて管理する必要がある。

【0039】

実施の形態1のファクシミリ設定システムにおいては、ファクシミリ装置3のパラメータ設定を行うためのクライアント端末4が設けられており、ウェブサーバ5のウェブページ上で設定を行い、これをSMTPサーバ6、CTIサーバ7を利用することによってファクシミリ装置3に送って設定を行っている。

【0040】

続いて、このファクシミリ設定システムのファクシミリ装置3の構成について説明する。図2において、11は公衆電話回線2と接続されて通信制御を行うインタフェース、11aは電話回線の接続制御を行う回線インタフェース部、11bはファクシミリ送受信するFAXモデム部、11cはDTMF信号の送受信を行うDTMF送受信部である。

【0041】

12は音声回路を備えハンドセット（図示しない）のスピーカとマイクから音声を入出力する音声入出力部、13はCCD等で原稿を読み取りファクシミリ送信可能なMR/MH形式でデータ出力を行うスキャナ部、14はLCD等のディスプレイに表示を行う表示手段、15はFAXモデム部11bから出力されたデータを印刷する印刷部、16はテンキーやファンクションキー、送信ボタン等その他のボタン、及びこれらのボタンからの入力をコードデータに変換する入力手段、17は着信したとき自動応答して音声蓄積部（図示しない）に録音する留守番電話機能を実行する留守録部である。

【0042】

18はファクシミリ装置3全体の制御を行う制御部、19は記憶部、19aは制御プログラム記憶部、19bはファクシミリ装置3が動作するときの各種機能の設定パラメータ（本発明のパラメータ情報）を設定するパラメータ記憶部である。制御部18は制御プログラム記憶部19aから制御プログラムを読み出して

中央処理装置により実行する機能実現手段として構成される。20は、入力手段16の操作により入力されたパラメータ送信要求をCTIサーバ7へ送信するために、パラメータ送信要求のデータをDTMF送受信部11cもしくはFAXモデム部11bへ入力するとともに、ファクシミリ装置3がDTMF信号またはモデム信号で設定パラメータを受信したとき、この設定パラメータを解析し、さらに入力手段から入力されたパラメータ情報をDTMF送受信部11cもしくはFAXモデム部11bへ出力するパラメータ設定通信手段である。21は、コードデータ化された設定パラメータをパラメータ記憶部19bに記憶したり、パラメータ記憶部19bから設定パラメータを取り出して設定パラメータ設定通信手段に出力するパラメータ設定制御手段である。このパラメータ設定通信手段20、パラメータ設定制御手段21、さらに留守録部17の実行手段も、制御プログラム記憶部19aから制御プログラムを読み出して中央処理装置により実行する機能実現手段として構成される。

【0043】

このファクシミリ装置3は、クライアント端末4によってウェブサーバ5で設定されたパラメータがCTIサーバ7からファクシミリ装置3の電話番号宛てにDTMF信号またはその他のモデム信号で送られるため、これをパラメータ設定通信手段20で取り出し、パラメータ設定制御手段21によってパラメータ記憶部19bに記憶する。

【0044】

次に、ファクシミリ設定システムのウェブサーバ5の構成について説明する。図3は本発明の実施の形態1におけるウェブサーバの構成図である。図3において、31はインターネット1との通信制御を行うネットワークインタフェース部、32はプロトコルhttpでウェブページを送信するウェブサーバ手段、32aはSMTPで電子メールの処理を行うメール手段（本発明の通知手段）、33はRAM、34はウェブサーバ5の記憶部、34aはウェブサーバ5から送信するHTML等のウェブページを格納したウェブページ格納部、34bはファクシミリ装置3が動作するときの設定パラメータを記憶したパラメータ記憶部である。35はパラメータ設定を行うときユーザ認証を行う認証手段である。このよう

にウェブサーバ5は、実施の形態1のファクシミリ設定システムにおいては、クライアント端末4からのアクセスでパラメータ設定を行う。また、ウェブサーバ5はこの設定パラメータを電子メールでSMTPサーバ6に送信する。

【0045】

さらに、CTIサーバ7の構成について説明する。図4は本発明の実施の形態1におけるCTIサーバの構成図である。図4において、41はインターネット1との通信制御を行うネットワーク通信手段、42は公衆電話回線2との通信制御を行う電話網通信手段、43はファクシミリ通信とSMTP通信、http通信を統合してフォーマット変換を行うことができる変換手段、44はRAM、45はROM、46はCTIサーバ7の制御部である。

【0046】

ウェブサーバ5が設定パラメータを電子メールでSMTPサーバ6に送信すると、SMTPサーバ6はファクシミリ装置3の電話番号宛てに電子メールを送信する。CTIサーバ7はこの電子メールをDTMF信号またはその他のモデム信号に変換して送信するものである。

【0047】

図5はCTIサーバとファクシミリ装置間の制御コマンドの構成図である。図5において、50は制御コマンドの開始を示すフラグ、51は制御コマンドの内容を示す「設定パラメータ送信要求」「設定パラメータ受信要求」「情報送信」「情報受信」等の制御情報を記述する制御情報部、52は設定機能情報、53は設定機能の設定パラメータ、54は制御コマンドの終了を示すフラグである。設定機能情報52には、例えばワンタッチダイヤルを設定する旨の情報をセットし、設定パラメータ53にはワンタッチダイヤルの電話番号をセットする。

【0048】

そこで、以下、実施の形態1のファクシミリ設定システムで設定を行うときの動作のシーケンスについて説明する。第1の設定のシーケンスは、正規登録がなされていない状態でクライアント端末からウェブサーバ5にアクセスしてパラメータ設定する場合である。図6は本発明の実施の形態1におけるファクシミリ設定システムで設定を行うときの第1の設定のシーケンス図、図9は本発明の実施

の形態 1 におけるユーザ設定パラメータの一覧図、図 10 は本発明の実施の形態 1 におけるユーザ設定画面図である。図 6 に示すように、クライアント端末 4 からウェブサーバにアクセスして設定用ウェブページを要求すると (S1)、ウェブサーバ 5 から図 10 に示すような設定用ウェブページを送信する (S2)。クライアント端末 4 ではこれに設定パラメータを書き込んでウェブサーバ 5 に送信する (S3)。

【0049】

設定用ウェブページの設定画面には、入力者を特定するための「氏名」「住所」「クレジット番号」等を記入し、さらに図 9 に示すようにユーザ設定パラメータとして、「機種名」「電話番号」「回線種別」「ワンタッチダイヤル」「留守着信呼び出し回数」「用件転送」「ナンバーディスプレイ」「非通知着信拒否」「着信音」「無鳴動受信」「電話帳」等が入力できる。ウェブサーバ 5 はこの設定パラメータをパラメータ記憶部 34b に格納する。なおこのとき、設定用ウェブページの設定画面で複数のファクシミリ装置 3 のユーザ設定パラメータを同時に入力可能にし、同一設定 (グループ設定) することもできる。さらに、設定用ウェブページの設定画面は、機種ごとにワンタッチダイヤルやその他の機能が異なるため、機種単位で用意するのが好適である。そして機種変更のウェブページを設けておけば、変更後の機種に合わせた内容のデータを送ることができるし、交換後の新機種ではサポートされていない機能を一覧で表示することもできる。

【0050】

その後ある時点で、ファクシミリ装置 3 からユーザが設定ボタンを押し下げると (S4)、設定パラメータ送信要求である旨の情報を制御情報部 51 内に収めた制御コマンドが DTMF 信号で公衆電話回線 2 を経由して CTI サーバ 7 に発信される (S5)。このとき HDLC 類似の伝送手順で送信される。なお、このとき DTMF 信号に代えてその他のモデム信号で送ることもできる。

【0051】

CTI サーバ 7 は、DTMF 形式の設定パラメータ送信要求を受信するとともに、公衆電話回線 2 を経由するとき発呼者番号 (ナンバーディスプレイ) を付加され受信する。CTI サーバ 7 はこの設定パラメータ送信要求と発呼者番号を D

TMF形式からメール形式に変換してこの電子メールをSMTPサーバ6に送信する(S6)。SMTPサーバ6はこの電子メールをウェブサーバ5に送信する(S7)。

【0052】

ウェブサーバ5はこの設定パラメータ送信要求と発呼者番号を受信すると、制御部36はパラメータ記憶部34bに記憶された設定パラメータの中からシーケンスS3で設定された同一の電話番号を読み出し(S8)、同一の電話番号があった場合は、この発呼者番号宛てに設定パラメータをCTIサーバ7に送信要求するために、SMTPサーバ6にこの送信要求をSMTPサーバ6に送信し(S9)、SMTPサーバ6はこれをCTIサーバ7に送信する。

【0053】

CTIサーバ7は電子メール形式で送られてきた設定パラメータの送信要求に基づいて、これをDTMF形式の設定パラメータ受信要求に変換する。すなわちCTIサーバ7は制御情報部51に設定パラメータ受信要求、設定機能情報52に設定パラメータの機能、設定パラメータ53にこの設定パラメータを収め、DTMF形式の設定パラメータ受信要求を発呼者番号宛てに設定する機能毎に制御コマンドを生成し送信する(S10)。このときHDLCL類似の電送手順で送信される。

【0054】

設定パラメータ受信要求を受信したファクシミリ装置3は、パラメータ設定通信手段20が、設定パラメータをコードデータに変換し、コードデータ化された設定パラメータをパラメータ設定制御手段21パラメータ記憶部19bに記憶してパラメータが更新される(S11)。

【0055】

以上説明した第1の設定のシーケンスは、未登録のユーザがいわば試用期間内に設定するものである。このような試用期間の設定はユーザが不慣れであったり、いろいろ試したりすることを考慮すると、数回、例えば3回はこのような入力設定を可能にするのがよい。このような2回目以降の再設定を行うときには、1回目の通信でファクシミリ装置の電話番号と設定画面から入力した電話番号とが

一致し、且つ入力された氏名、住所、クレジット番号からファクシミリ装置とユーザの対応が既についているから、S4～S7を省略し、ウェブページからの入力で直ちにパラメータを送信するのが好適である。

【0056】

なお、クレジット番号の入力がない場合には、S4～S7を省略しないようにし、さらに一つの電話番号に対し3回までの設定シーケンスしかしないようにするようようにしてもよい。

【0057】

続いて、第2の設定のシーケンスについて説明する。第2の設定のシーケンスは、正規登録がなされた後のクライアント端末からウェブサーバ5にアクセスしてパラメータ設定する場合である。図7は本発明の実施の形態1におけるファクシミリ設定システムで設定を行うときの第2の設定のシーケンス図である。図7において、クライアント端末4からウェブサーバにアクセスして登録用ウェブページを要求すると(S21)、ウェブサーバ5から登録用ウェブページを送信する(S22)。クライアント端末4ではこれに登録情報を書き込んでウェブサーバ5に送信する(S23)。登録用ウェブページの設定画面には、入力者を特定するための「氏名」「住所」「クレジット番号」「暗証番号」等を記入し、さらに図9に示すような初期値のユーザ設定パラメータが入力できる。ウェブサーバ5はこの設定パラメータをパラメータ記憶部34bに格納する。

【0058】

この後図示はしないが、ウェブサーバ5は、内部の乱数発生器等とユーザ情報を利用し、ファクシミリ装置3との間で固有の認証情報を生成する。この認証情報はパラメータ記憶部34bに格納されるとともに、ウェブサーバ5からCTIサーバ7に送信し、CTIサーバ7からファクシミリ装置3に送信され、パラメータ記憶部19bに格納される。これ以降ウェブサーバ5は、ファクシミリ装置3からのアクセスに対して、この認証情報で認証手段35により認証を行う。なお、図示はしないが、S23の後に発呼者番号の確認のため、第1の設定のシーケンスS1～S11の動作を行うのが好適である。

【0059】

次いで、クライアント端末4からウェブサーバ5にアクセスして設定用ウェブページを要求し(S24)、ウェブサーバ5から設定用ウェブページを送信する(S25)。クライアント端末4では設定用ウェブページに設定画面確認ボタンが表示されており、ユーザがこれを押下げると(S26)、この時点までにファクシミリ装置3側で別途設定がなされているか否かの問い合わせをSMTPサーバ6へ送信し(S27)、CTIサーバ7はこれをDTMF形式で問い合わせる(S28)。

【0060】

ファクシミリ装置3は設定パラメータに変更がなされていればこの変更内容を送信する(S29)。なお、ファクシミリ装置3は、設定パラメータの変更履歴を記憶部19に有し、ウェブサーバ5から設定されたものなのか、入力手段16からの入力により設定されたものなのかの区別も変更履歴として保持しているため、設定パラメータがウェブサーバ5からの設定後、さらに入力手段16からの入力による設定があった場合には、その変更内容のみを送信するようにしてもよく、また変更後の設定パラメータすべてを送信するようにしてもよい。

【0061】

CTIサーバ7はこれをメール形式でウェブサーバ5に送信し(S30)、ウェブサーバ5は変更内容を設定用ウェブページに反映してクライアント端末3に送信する(S31)。この設定用ウェブページに設定パラメータを書き込み、ウェブサーバ5に送信する(S32)。ウェブサーバ5はこの設定パラメータをパラメータ記憶部34bに格納する。S26で確認ボタンの押下がない場合も、直ちにS32に進んでウェブサーバ5に送信する。

【0062】

ウェブサーバ5は、変更内容を織り込んだ設定パラメータをパラメータ記憶部34bから取り出して、その設定パラメータを反映させた更新用ウェブページをクライアント端末4に送信する。なお、設定更新用ウェブページは、図9のように現状の設定内容を表示し、さらにその表示内容をクライアント端末4から変更可能に構成されている。この設定更新用ウェブページでの設定パラメータを変更して、更新ボタンを押下した場合、ウェブサーバ5は登録された電話番号宛てに

変更した設定パラメータをCTIサーバ7に対して送信要求する(S33)。この送信要求をSMTPサーバ6に送信し(S33)、SMTPサーバ6はこれをCTIサーバ7に送信する。CTIサーバ7はこれをDTMF形式の設定パラメータ受信要求に変換し、ファクシミリ装置3に送信する(S34)。

【0063】

設定パラメータ受信要求を受信したファクシミリ装置3は、パラメータ設定通信手段20が、設定パラメータをコードデータに変換し、コードデータ化された設定パラメータをパラメータ設定制御手段21パラメータ記憶部19bに記憶して設定パラメータが更新される(S35)。

【0064】

次に、第3の設定のシーケンスについて説明する。第3の設定のシーケンスは、正規登録がなされた後にファクシミリ装置3で設定パラメータの更新を行ってウェブサーバ5に通知する場合である。図8は本発明の実施の形態1におけるファクシミリ設定システムで設定を行うときの第3の設定のシーケンス図である。第3の設定のシーケンスの場合、ファクシミリ装置3で行った設定パラメータの更新をウェブサーバ5に送信するか否かをユーザが選択することが可能である。

【0065】

第2の設定のシーケンスのS21～S23、次に第1の設定のシーケンスのS1～S11の動作が行われた後、ある時点でDユーザが設定パラメータの変更内容をウェブサーバ5に送信する場合、図8に示すように、ファクシミリ装置3からユーザが設定ボタンを押し下げると(S41)、変更内容の設定パラメータ送信要求が認証データとともにDTMF信号で公衆電話回線2を経由してCTIサーバ7に発信される(S42)。このときHDL C類似の電送手順で送信される。

【0066】

CTIサーバ7は、DTMF形式の設定パラメータ送信要求を受信するとともに、公衆電話回線2を経由するとき発呼者番号(ナンバーディスプレイ)を付加されこれを受信する。CTIサーバ7はこの設定パラメータ送信要求と認証情報、発呼者番号をDTMF形式からメール形式に変換してこの電子メールをSMT

Pサーバ6に送信する(S43)。SMTPサーバ6はこの電子メールをウェブサーバ5に送信する(S44)。

【0067】

ウェブサーバ5はこの設定パラメータ送信要求と発呼者番号を受信すると、認証手段35が認証情報によって認証を行い、制御部36は認証情報で管理された登録情報をパラメータ記憶部34bから読み出し、受信した変更内容に更新する(S45)。その後、第1の設定のシーケンスのS1～S3と同じ動作が行われてパラメータ設定が行われると、ウェブサーバ5は登録された電話番号宛てに設定パラメータをCTIサーバ7に送信する(S46)。SMTPサーバ6にこの送信要求をSMTPサーバ6に送信し(S47)、SMTPサーバ6はこれをCTIサーバ7に送信する。CTIサーバ7は、これをDTMF形式の設定パラメータ受信要求を発呼者番号宛てに送信する(S48)。

【0068】

設定パラメータ受信要求を受信したファクシミリ装置3は、パラメータ設定通信手段20が、設定パラメータをコードデータに変換し、制御部18がコードデータ化された設定パラメータを表示手段14によってディスプレイ上に表示する。ファクシミリ装置3から送った設定パラメータと、受信した設定パラメータを比較して相違があった場合、更新するか否かを行って確定する。この確定により、コードデータ化された設定パラメータはパラメータ設定制御手段21はパラメータ記憶部19bに記憶する(S49)。従って、どのようなパラメータが設定されたか利用者が確認してから実際にパラメータ記憶部19bに記憶できるから、利用者によって安心であるし、ウェブページ上で間違った設定をしてもその設定をファクシミリ装置に設定しなようにすることができる。なお、送信された設定パラメータを表示させずに、直接パラメータ記憶部19bに反映させるモードを設け、利用者により選択可能にしてもよい。

【0069】

以上説明したように、実施の形態1におけるファクシミリ設定システムは、設定パラメータをインターネット1のどこのクライアント端末4からでも設定することができる。

【0070】**【発明の効果】**

本発明の電話関連機器のパラメータ設定方法によれば、クライアント端末からパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力するので、電話関連機器に直接入力するよりも容易に且つどこからでも入力でき、HTML等で記載されたパラメータ情報がDTMF信号またはモデム信号に変換され、電話関連機器が自動でパラメータ設定を行うことができる。

【0071】

クライアント端末からパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力するので、容易に且つどこからでも入力でき、電話関連機器から設定パラメータ送信要求することによりパラメータ情報をダウンロードするため、認証情報が格納されていないときでも容易にユーザ認証ができる。そして発呼者番号通知から発呼者番号を取り出すのでファクシミリ装置の負担が軽くなり、発呼者番号で電話関連機器のパラメータ情報を抽出でき、認証情報が格納されていないときでも電話番号で容易に簡易な認証ができる。

【0072】

また、登録設定用ウェブページを使用することでウェブサーバに容易にユーザ登録することができる。ユーザ登録されている場合に、ウェブページからパラメータ情報を確認する入力が行え、ファクシミリ装置に別途パラメータ設定があったときの変更内容を容易に知ることができる。そして電子メールを利用してウェブサーバからCTIサーバにパラメータ情報を送信できる。

【0073】

各種機能の設定が慣れない者にとっては難しく、且つデータ通信機器として既に定着しているファクシミリ装置のパラメータ設定作業をネットワーク上で行え、容易に設定が可能になる。ウェブサーバに登録情報が登録された場合には、この登録情報に対して認証情報が関係付けられ、電話関連機器からウェブサーバにアクセスしたときには登録情報を間違いなく管理できる。

【0074】

本発明の電話関連機器によれば、モデム信号またはDTMF信号を使ってパラ

メータ情報を送信し、パラメータ情報に従って容易に制御部が電話関連機器のサービス機能の設定を行うことができる。ウェブサーバとの通信時には認証情報を送信するから、電話関連機器からウェブサーバにアクセスしたときには登録情報を間違いなく管理できる。

【0075】

本発明のウェブサーバは、クライアント端末からパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力するので、容易に且つどこからでも入力でき、HTML等で記載されたパラメータ情報がCTIサーバに送信され、電話関連機器が自動でパラメータ設定を行うことができる。登録設定用ウェブページを使用することでウェブサーバに容易にユーザ登録することができる。電話関連機器からウェブサーバにアクセスしたときには登録情報を間違いなく管理できる。

【0076】

本発明のCTIサーバによれば、広域ネットワークから入力したパラメータ情報がメール形式となり、このメール形式のパラメータ情報を電話関連機器で受信可能に変換できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態1におけるファクシミリ設定システムの全体構成図

【図2】

本発明の実施の形態1におけるファクシミリ装置の構成図

【図3】

本発明の実施の形態1におけるウェブサーバの構成図

【図4】

本発明の実施の形態1におけるCTIサーバの構成図

【図5】

CTIサーバとファクシミリ装置間の制御コマンドの構成図

【図6】

本発明の実施の形態1におけるファクシミリ設定システムで設定を行うときの第1の設定のシーケンス図

【図 7】

本発明の実施の形態 1 におけるファクシミリ設定システムで設定を行うときの
第 2 の設定のシーケンス図

【図 8】

本発明の実施の形態 1 におけるファクシミリ設定システムで設定を行うときの
第 3 の設定のシーケンス図

【図 9】

本発明の実施の形態 1 におけるユーザ設定パラメータの一覧図

【図 10】

本発明の実施の形態 1 におけるユーザ設定画面図

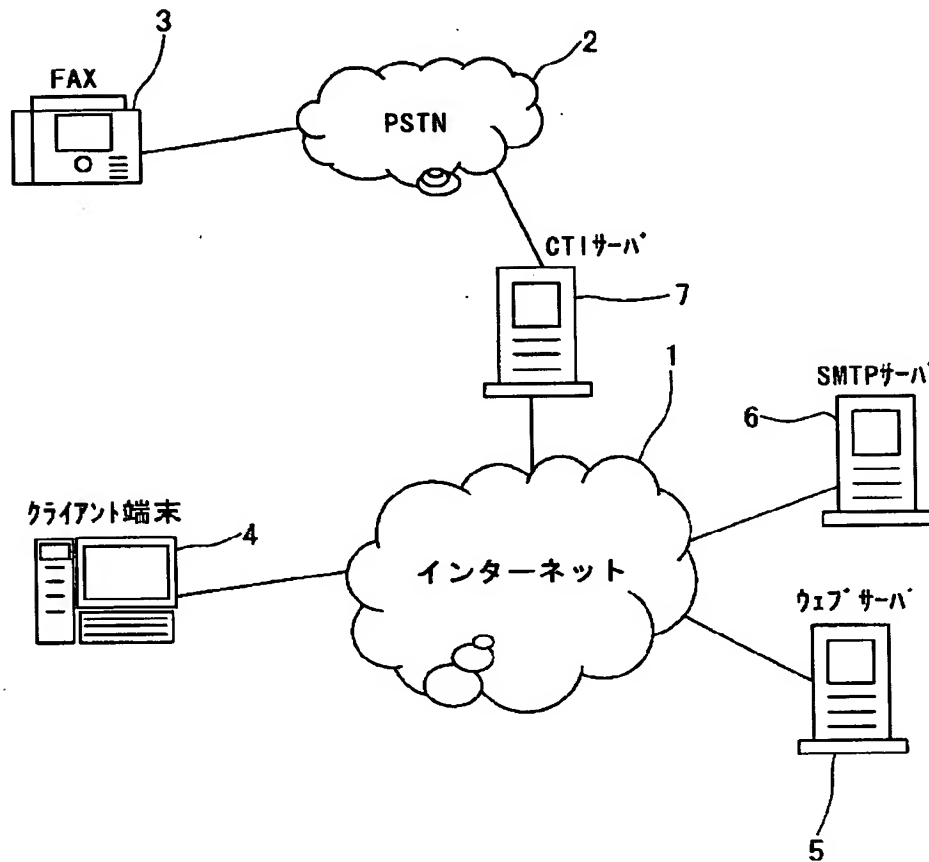
【符号の説明】

- 1 インターネット
- 2 公衆電話回線 (PSTN)
- 3 ファクシミリ装置 (FAX)
- 4 クライアント端末
- 5 ウェブサーバ
- 6 SMTPサーバ
- 7 CTIサーバ
- 11 インタフェース
 - 11a 回線インタフェース部
 - 11b FAXモデム部
 - 11c DTMF送受信部
- 12 音声入出力部
- 13 スキャナ部
- 14 表示手段
- 15 印刷部
- 16 入力手段
- 17 留守録部
- 18, 46 制御部

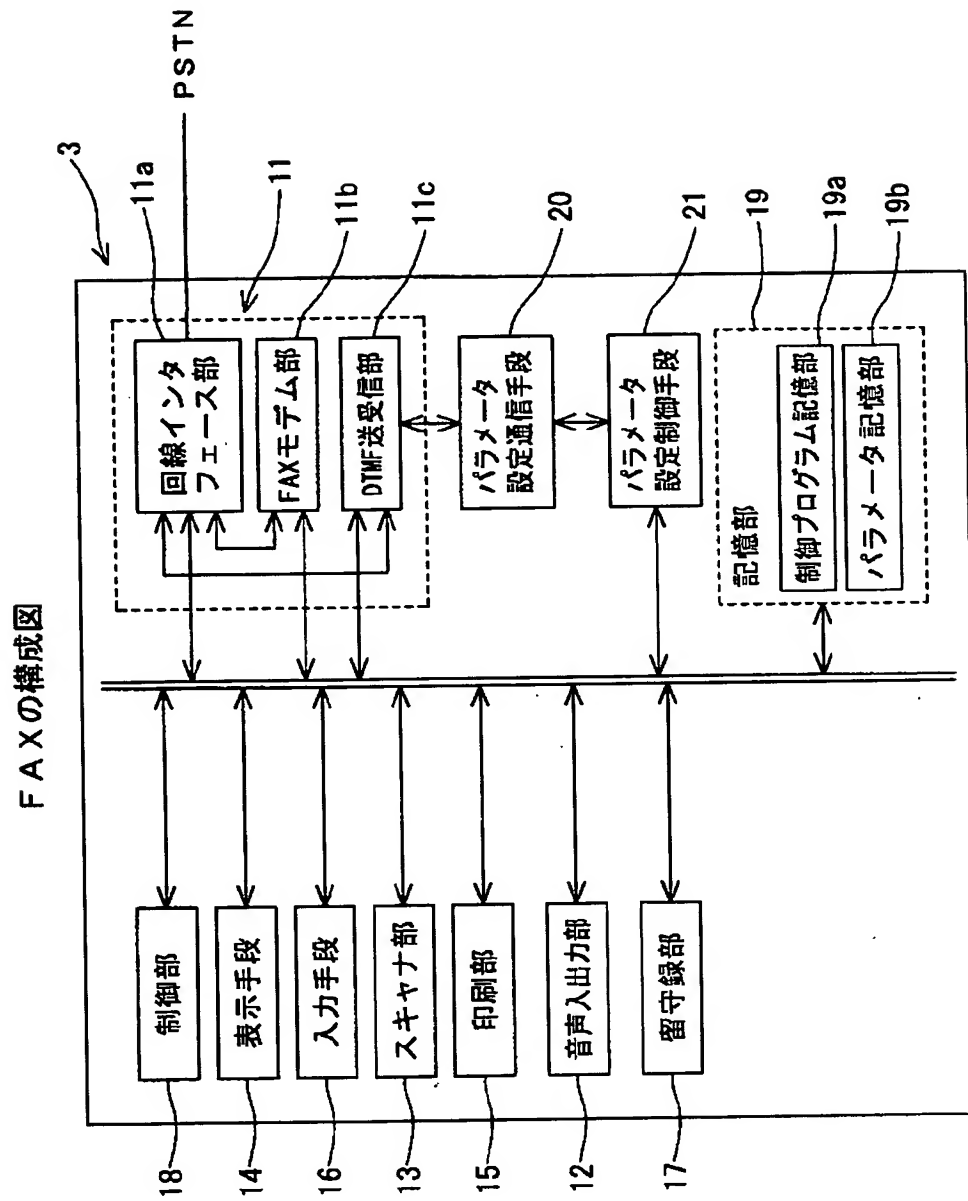
- 1 9, 3 4 記憶部
 - 1 9 a 制御プログラム記憶部
 - 1 9 b パラメータ記憶部
- 2 0 パラメータ設定通信手段
- 2 1 パラメータ設定制御手段
- 3 1 ネットワークインタフェース部
- 3 2 ウェブサーバ手段
 - 3 2 a メール手段
- 3 3, 4 4 R A M
 - 3 4 a ウェブページ格納部
 - 3 4 b パラメータ記憶部
- 3 5 認証手段
- 4 1 ネットワーク通信手段
- 4 2 電話網通信手段
- 4 3 変換手段
- 4 5 R O M
- 5 0, 5 4 フラグ
 - 5 1 制御情報部
 - 5 2 設定機能情報
 - 5 3 設定パラメータ

【書類名】 図面

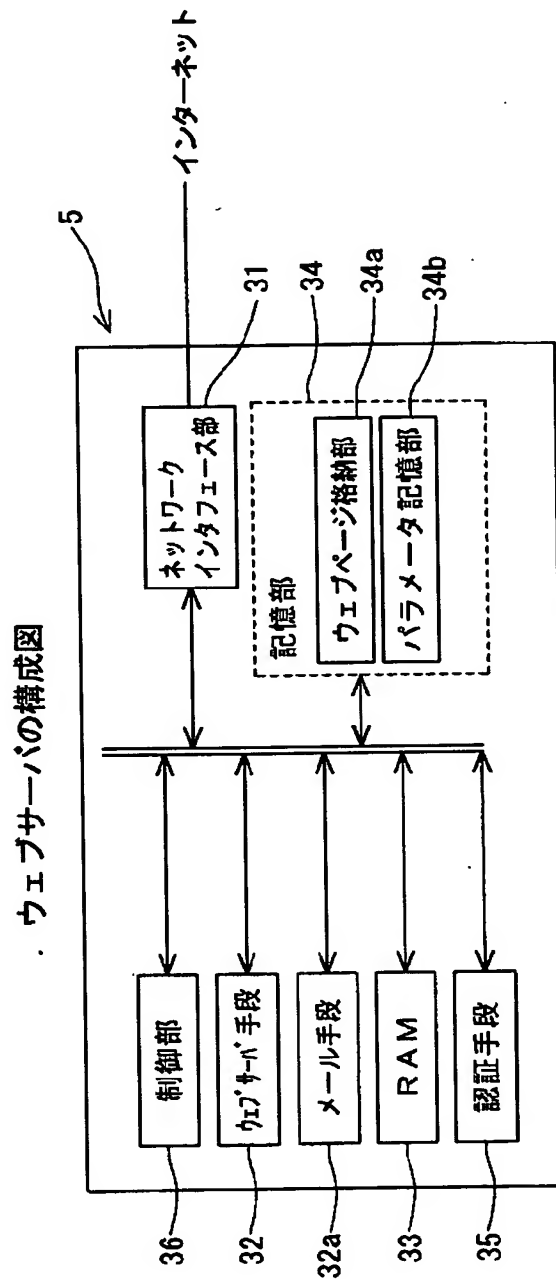
【図 1】



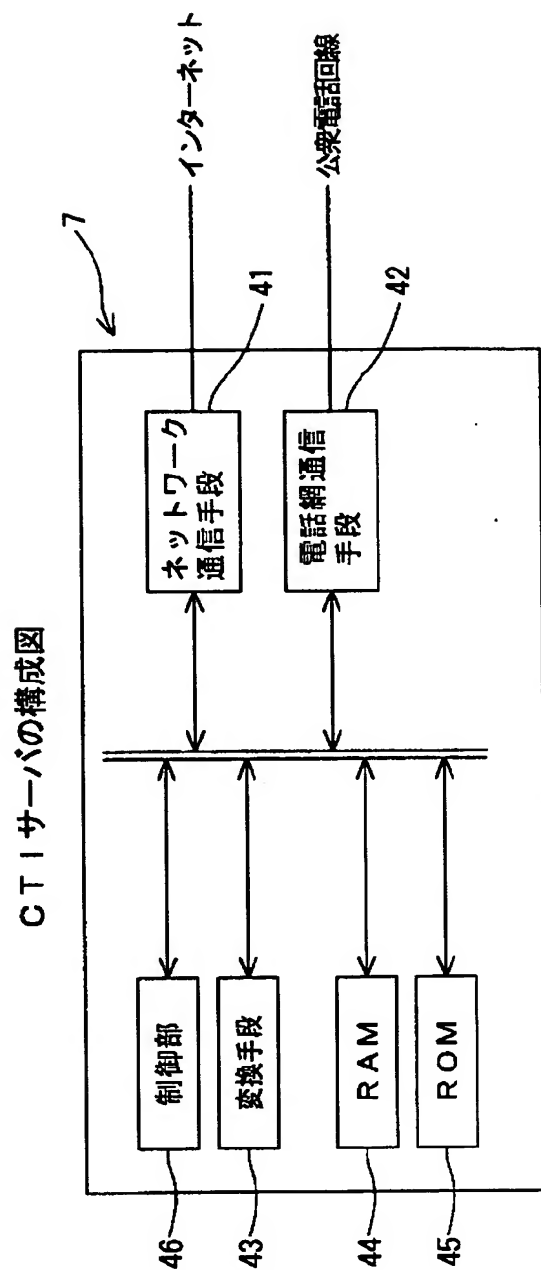
【図 2】



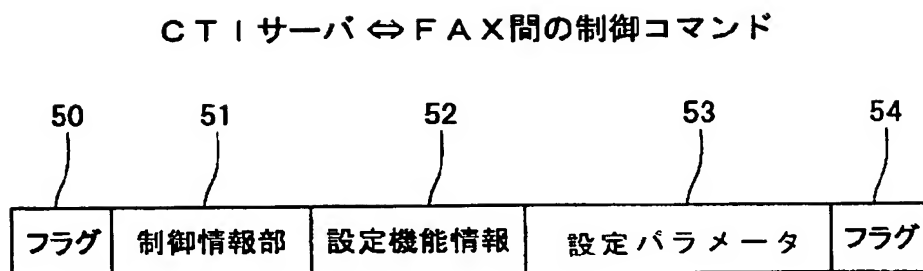
【図 3】



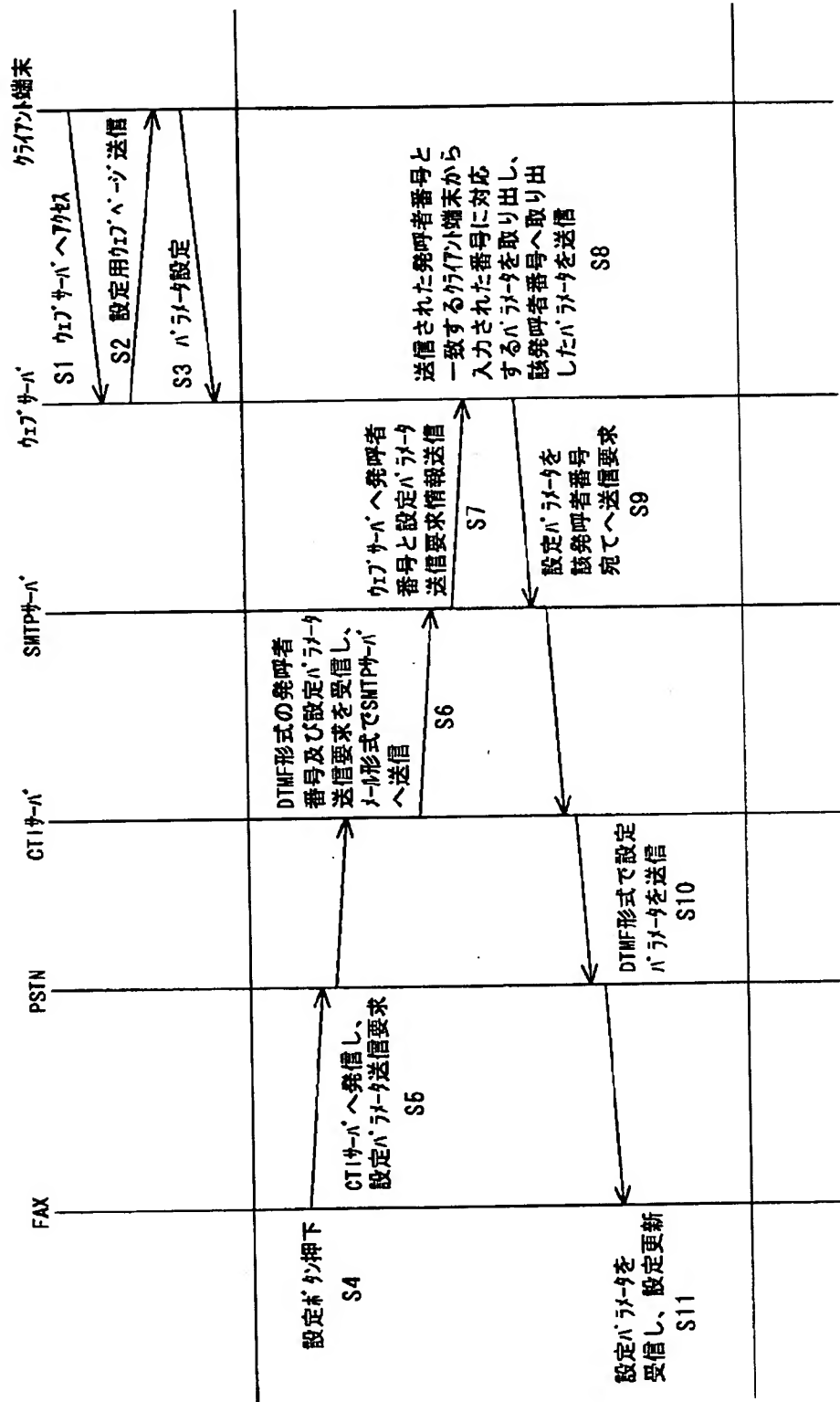
【図 4】



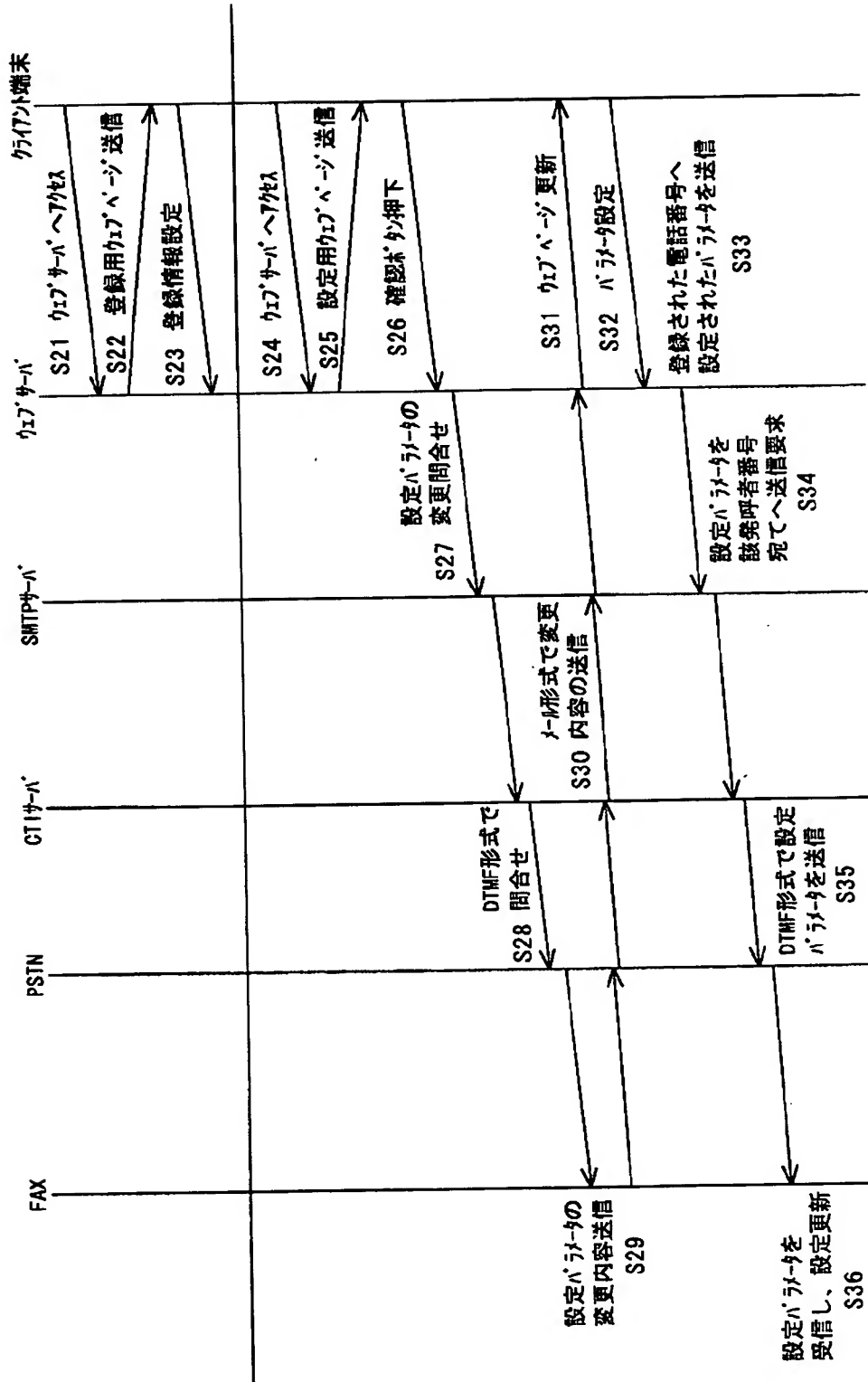
【図 5】



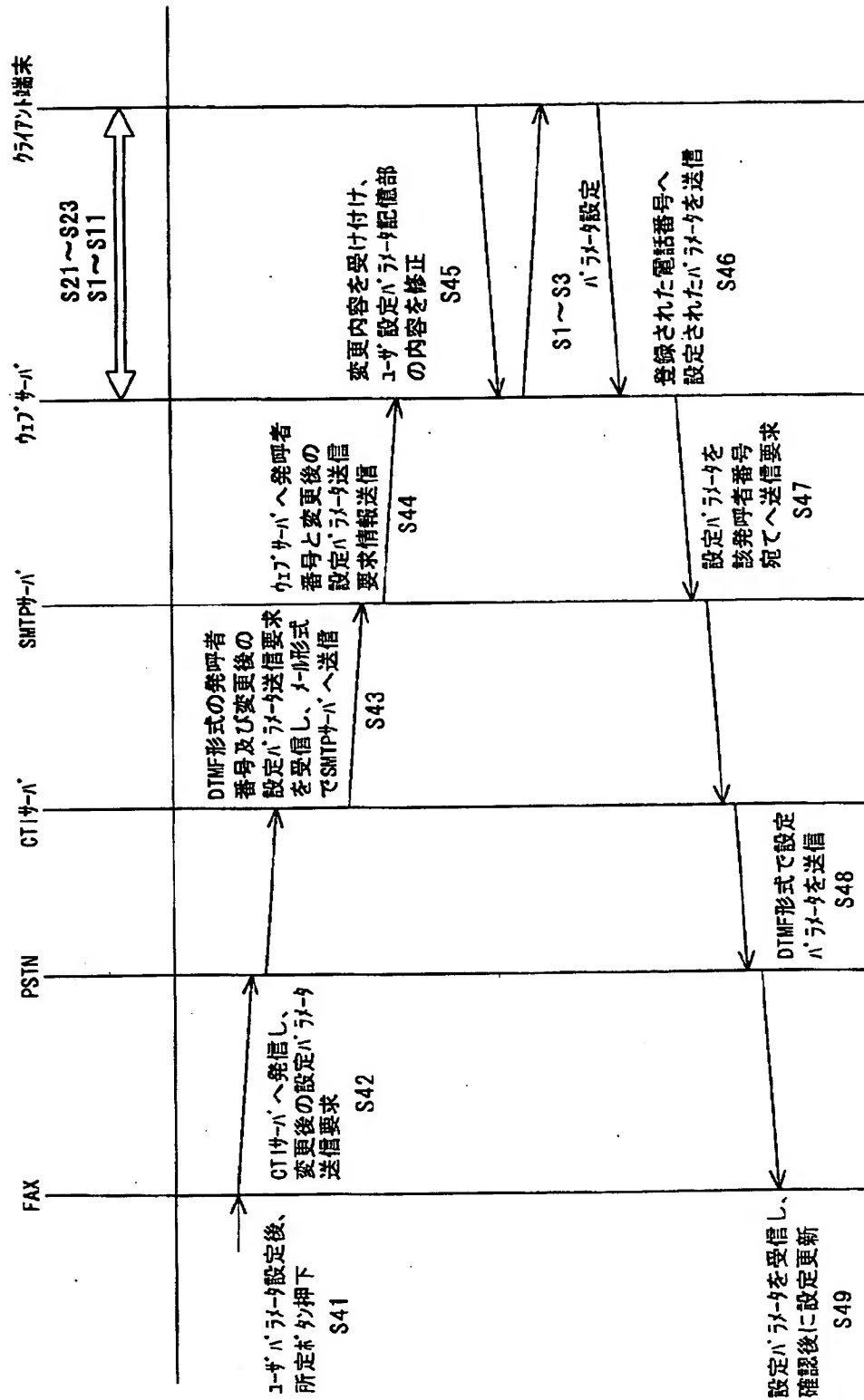
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

名前	ユーザ設定パラメータ
機種名	FAX-HG1
電話番号	〇〇〇-△△△△
回線種別	プッシュ
暗証番号	12345
ワンタッチダイヤル1	△×〇-1234
ワンタッチダイヤル2	△×〇-2345
ワンタッチダイヤル3	△×〇-3456
ワンタッチダイヤル4	△×〇-4567
留守着信呼び出し回数	4回
用件転送	あり／△△△-3333
ナンバーディスプレイ	あり
非通知着信拒否	する
着信音	メロディ1
無鳴動受信(ファックス)	する
電話帳1	桃次郎／△×〇-1111
電話帳2	桃三郎／△×〇-1112
電話帳3	桃四郎／△×〇-1113
電話帳4	桃五郎／△×〇-1114

【図 10】

NO. 1) 名前設定

相手にファックス送信された紙の上に、あなたの名前を自動的に印刷できます。

☐ 印刷する ☐ 印刷しない

.....

NO. 5) ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーを押すと自動的に登録した電話番号に発信します。登録したいワンタッチダイヤルキーに電話番号を入力してください。

ワンタッチダイヤル 1

ワンタッチダイヤル 2

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、ユーザがパラメータ情報をどこからでも容易に設定することができる電話関連機器のパラメータ設定方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 本発明の電話関連機器のパラメータ設定方法は、クライアント端末から広域ネットワークを介してウェブサーバにアクセスし、該ウェブサーバからパラメータ設定用のウェブページを受信してパラメータ情報を入力し、該パラメータ情報がウェブサーバに送信されたときには、該ウェブサーバがパラメータ情報広域ネットワークを経由してC T Iサーバに送信し、該C T IサーバがD T M F信号またはモデム信号によりパラメータ情報を公衆電話回線で接続された電話関連機器のモデムに送信し、該電話関連機器が該パラメータ情報に基づいて設定することを特徴とする。

【選択図】 図1

特願 2002-283154

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日

1990年 8月28日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真1006番地

氏 名

松下電器産業株式会社